

ゼロカーボンシティ宣言の検討状況について

1 趣旨

近年、極端な気象現象による自然災害が発生し、区民生活にも大きな影響をもたらしている。こうした中、国連のIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の1.5 特別報告書（2018年公表）では、「2050年前後には世界の二酸化炭素排出量を正味ゼロにする必要がある」ことが示された。また、本年8月9日公表のIPCC第6次評価報告書では、「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」と評価されている。

我が国においては、2020年に「2050年カーボンニュートラル」が宣言され、東京都においては、2019年に「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」を宣言した。

これらを踏まえ、本区においても、地球温暖化を防ぐための行動を加速していくため、標記宣言を行うこととする。

2 宣言の要旨

2050年二酸化炭素排出実質ゼロの実現を目指す「すみだゼロカーボンシティ2050」を宣言し、区民・事業者・区が協働することにより、脱炭素社会の実現に向けたまちづくりを推進していくこととする。

3 宣言文

裏面のとおり、検討している。

4 宣言日等

「すみだ環境の日」である本年10月5日に、区長及び区議会議長が宣言文に署名する方法により行う。

5 参考

宣言を巡るこれまでの本区の対応は、以下のとおりである。

令和2年度及び3年度の区重要事業として、「第二次すみだ環境の共創プラン」中間改定の検討を行う中で、「2050年ゼロカーボンシティ」の表明について検討を行ってきた。

本年度区議会定例会6月議会の本会議における「ゼロカーボンシティ宣言」の表明に関する本会議質問に対し、「SDGs未来都市にも選定されたので、区議会とも相談しながら、宣言を表明する方向で早急に検討する。」との区長答弁を行った。

本年度区議会定例会6月議会に提出された「墨田区におけるゼロカーボンシティ宣言と2030年度温室効果ガス削減目標引上げに関する陳情」に対し、本年6月23日、「趣旨に沿うよう努力されたい。」との意見付採択がされている。

すみだゼロカーボンシティ2050宣言(案)
～脱炭素社会の実現を目指して～

墨田区は、かけがえのない地球を未来の子どもたちに引き継ぐため、「環境にやさしいまち すみだ」の実現に向けた取組を積極的に推進しています。

しかし、近年、世界各地及び日本において、極端な気象現象による自然災害が発生し、私たちの生命や財産を脅かすとともに、区民生活にも大きな影響をもたらしています。

2018年に公表された国連のIPCC(気候変動に関する政府間パネル)の報告書では、2050年前後には世界の二酸化炭素排出量を正味ゼロにする必要があることが示されました。また、2015年に国連で採択されたSDGsでは、地球上の「誰一人取り残さない」ことを理念とする、持続可能な社会の実現を掲げています。

我が国においては、2020年に「2050年カーボンニュートラル」が宣言され、東京都においても、2019年に同様の宣言が行われています。

これらを踏まえ、墨田区においては、地球温暖化を防ぐための行動を加速していくため、2050年二酸化炭素排出実質ゼロの実現を目指す「すみだゼロカーボンシティ2050」を宣言し、区民・事業者・区が協働することにより、脱炭素社会の実現に向けたまちづくりを推進していきます。

2021(令和3)年 月 日

墨田区長

墨田区議会議長
